

県内で新・ご当地グルメを手掛ける当町、深浦町、平内町、田子町の各団体が「新・ご当地グルメネットワークあおもり(S-1あおもり)」(会長・西崎朋深浦マグロ料理推進協議会長)を設立し、4月18日(月)青森県庁内で三村県知事に報告しました。当町からは中畑哲也メバル料理推進協議会長が出席し、これまでの取り組みやメバル膳について説明を行いました。三村知事からは「力を合わせて楽しみながら地域を元気にしていってほしい」と激励を受けました。

S-1あおもりは豊かな自然環境と恵まれた青森の魅力を地域間連携で表現することで、食の魅力を創造し、交流人口を増やし地域経済の発展や活性化を目的としています。7月から始まる「青森県・函館 DESTINATION キャンペーン」に合わせ、食べ歩きスタンプラリーを企画しているほか、県内外のイベントへの参加などを通して各地域の魅力を発信していくそうです。中畑会長は「これからはS-1の仲間と連携・競争をしながら、今まで以上に食によるまちづくりを進め、地域の活性化に繋がりたい」と話していました。



S-1あおもり結成

全校児童生徒がいじめ撲滅を誓う

管内小中学校で
ノーいじめ宣誓式



中里中学校

恒例となった管内全小中学校で実施した「いじめ宣誓式」が、今年も管内中学校を皮切りに行われました。

中里中学校では、4月20日(水)の参観日に合わせ、生徒たちが、先生・保護者の前で「いじめをしないような雰囲気づくりをする」と誓いました。また、昨年度に行ったアンケート調査の結果から、生徒が考えるいじめが起きる原因や対策などを発表しました。今年度も全校生徒が仲良くなるための「発声プロジェクト」や挨拶運動にも継続して取り組んでいくそうです。説明終了後、全校で標語「4つの約束」を読み上げ、誓いました。

一方、4月22日(金)小泊中学校では、生徒会がいじめ根絶集会を開きました。集会では全校生徒に趣旨説明を行い、各学級ごとのいじめ撲滅への取り組みを発表しました。さらに長谷川末侑さんが生徒全員が「いじめ等をしない、させない、みのがさない」と誓った全校生徒分の署名を、教育委員会あてに提出、いじめのない学校づくりを誓いました。

武田小学校と薄市小学校は4月26日(火)、中里小学校は4月28日(水)、小泊小学校は5月8日(金)に宣誓式を行いました。



小泊中学校

